

二条教則衍義書資料集

日本 大学 医学部 准教授
國學院大學 研究開発推進機構 伝統文化リサーチセンター 客員教授

三宅守常編

〔全三巻〕

明治聖徳記念学会発行
錦正 社発売

セット定価 16,800 円 (5%税込)
〔本体 16,000 円〕(分売不可)
〔体裁〕
A 5 判・上製・クロス装・セット函入
上巻：640 頁 + 口絵 16 頁
下巻：608 頁 総 1264 頁
平成 19 年 7 月 30 日 発行
セットコード ISBN978-4-7646-0275-5

目次

(上巻)

序

資料篇

単行書の部

〔布教綱要〕

〔教部省三箇条記〕

〔三教則訓義〕

〔三教則私考〕

〔三教則三章私解〕

〔三教則三章大意〕

〔三教則三章私意〕

〔三教則三章私論〕

〔三教則三章私評〕

〔三教則三章私議〕

〔三則說教幼童手引草〕

〔三則愚言十十一 題略說〕〔抄出〕

〔三則童諭目安〕

〔說教道語初編〕次編・続編・続々編

〔三則說教原義〕第一編

〔三則說教大意〕〔抄出〕

〔三則私解〕

〔三則和解〕〔抄出〕

〔三則說教講義〕

〔三則正評〕

〔三則正論〕

〔三則教則弁〕

〔三則教則私弁〕

〔三則教則私議〕

〔三則教則私論〕

〔三則教則私評〕

〔三則教則私議〕

〔三教則略解〕

〔三教則訓義略解〕

〔三教則私考略解〕

〔三教則三章私解略解〕

〔三教則三章大意略解〕

〔三教則三章私意略解〕

〔三教則三章私論略解〕

〔三教則三章私評略解〕

〔三教則三章私議略解〕



日本近代宗教史だけ
でなく日本思想史、倫理
教育史等の研究者には
必須不可欠の資料集。

資料篇として編年順に
約一〇五〇頁にわたり
収録。また各行義書につ
いて解説した解説篇も
約一五〇頁付した。

この三箇条に関して神道・仏教・心学・戯作者など各
方面から詳細に解釈した解説本が三條教則衍義書である。
墨筆、版本など多岐にわたり難字難読も多く、その編集
は難儀を極めたが衍義書一〇一点を十数年かけて翻刻し、
資料篇として編年順に
約一〇五〇頁にわたり
収録。また各行義書につ
いて解説した解説篇も
約一五〇頁付した。

「三條教則」とは、明治新政府による大教宣布の一環
として、明治五年に教部省が国民を教導し善導する立場
にあつた全国の教導職に通達した「第一条 敬神愛國ノ
旨ヲ体スヘキ事、第二条 天理人道ヲ明ニスヘキ事、第
三条 皇上ヲ奉戴シ朝旨ヲ遵守セシムヘキ事」の三箇条
からなる日常生活の倫理綱領。
教導職を通して日本国民に示された、近代日本におけ
る初の国民生活上の倫理的ガイドラインである。その
精神は明治二十三年の「教育勅語」へと受け継がれていく。

「三條教則」とは、明治新政府による大教宣布の一環
として、明治五年に教部省が国民を教導し善導する立場
にあつた全国の教導職に通達した「第一条 敬神愛國ノ
旨ヲ体スヘキ事、第二条 天理人道ヲ明ニスヘキ事、第
三条 皇上ヲ奉戴シ朝旨ヲ遵守セシムヘキ事」の三箇条
からなる日常生活の倫理綱領。
教導職を通して日本国民に示された、近代日本におけ
る初の国民生活上の倫理的ガイドラインである。その
精神は明治二十三年の「教育勅語」へと受け継がれていく。

教育学から

石川 松太郎

私たち教育史に関心をもつものは、近代といえれば明治五年頒布の「学制」を嚆矢とする学校教育に眼を奪われがちである。けれども、同年設置の教部省のもとで全国に任命配置された教導職による事績の軽視は許されない。宗教関係者のみでなく心学者等も協力して、国民を対象とした教化の故に、より重要とさえいえよう。本書は、その教化精神を簡潔にまとめた「三条教則」に関する後代多数の文献をとりあげ、厳密な校訂を施し懇切な解説を加えた書である。江湖に用いられることを切に期待したい。

(社団法人 石門心学会理事長・日本教育史学会 会長)

仏教から

末木 文美士

三条教則は教部省による大教院政策の軸となるものであり、島地黙雷らによる反対によって失敗に帰し、信教の自由が確立されたといわれる。しかし、今回刊行された資料集を見ると、三条教則の受容にはそのような図式では割り切れない多面性があることが知られ、それはそのまま日本近代の複雑さにつながるものである。近代の神仏関係、政教関係などを根幹から問い直すために、この資料集は計り知れない価値を持つものである。

(東京大学大学院人文社会系研究科・教授)

宗教学から

島 蘭 進

近代日本の宗教史の理解は容易でない。その大きな理由は、明治維新の際に宗教をめぐる起った変化が大きく、かつひじょうに複雑だからだ。その大きく複雑な変化を読み解く一つの鍵となるのが、一群の三条教則衍義書である。三宅守常氏の長期にわたる力業により、多数の三条教則衍義書が集成され、翻刻・解説が刊行されたことはまことに喜ばしい。この意義深い書物が十二分に活用されることを心から願っている。

(東京大学大学院人文社会系研究科・教授)

神道学から

阪本 是丸

このたび明治聖徳記念学会より発行された三宅守常氏編『三条教則衍義書資料集』所収の衍義書一〇一点には、國學院大學研究開発推進機構校史・学術資産研究センター河野博士記念室(河野省三博士記念文庫)のコレクションが六六六点含まれている。編者の長年の努力に敬意を表するとともに、本資料集を契機として、先人が培ってきた國學院のユニークな学術資産が再認識され、その活用と関連分野の研究が一層促進することを期待している。

(國學院大學研究開発推進機構・機構長)

編者略歴

三宅 守常 (みやけ もりつね)

昭和二十三年(一九四八)、京都市生まれ。皇學館(高校)を経て昭和五十一年日本大学大学院哲学専攻博士課程単位課程修了。日本大学教育制度研究所・精神文化研究所助手、(助)大倉精神文化研究所研究員(倫理・教育部門主任)等を経て、現在、日本大学医学部一般教育学系哲学・倫理学分野准教授。國學院大學研究開発推進機構伝統文化リサーチセンター客員教授。

【発 売 所】
【お問い合わせ】

錦正社

〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町544-6
電話03-5261-2891 FAX03-5261-2892 URL <http://www.kinseisha.jp/>

注文書	注文数	三条教則衍義書資料集 [全二巻]	定価: 本体16,000円(税別)
	セット	三宅守常編 ISBN978-4-7646-0275-5	発行: 明治聖徳記念学会
	お名前		発売: 錦正社
	〒 ご住所		
		お電話	